

いらなくなったおもちゃをもってきて！ほかのおもちゃと“かえっこ”しよう！！

かえっこ in YB ファブ

あさ ひる
にちじ **11月15日(土) 10:00~2:00**

とう
ばしょ **YB ファブ ホール棟ラウンジ**

こころ
さんかしかく 「子ども」と「子どもの心をもったひと」

かえっこのあそびかた

1 かえるポイントをもらう

かえるポイントを「かえっこバンク」で、もらいます。そのほうほうは、

- ・あそばなくなったおもちゃをもってくる。(本やCDでもいいよ)
- ただし、こわれてあそべないものや、だいじなものをもってこないでね。ほかにも、
- ・としょかんで本を2さつじょうかりる。
- ・やがいアートてんをみて、かんそうをいう。
- ・かえっこのおみせをおてつだりする。でも、ポイントがもらえます。



2 ポイントをつかって“かえっこ”

もらったかえるポイントをつかって、「ショップコーナー」にあるおもちゃのなかから、すきなものをえらんで“かえっこ”しよう！

かえっこであつまったおもちゃは、またつぎのかえっこへ！

おもちゃたちは、そうやってつぎつぎにあたらしいおともだちとであっていきます。

あつまった「かえるポイント」は、おとなになるまでつかえます。どこかのかえっこでつかってね。



YB fab は「人と文化と博士をつなぎ、未来を創る学びと交流の拠点」をコンセプトに、ホール、公民館、図書館、公園の機能を備えた複合施設です。

住所
〒567-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿 538 番地 1

アクセス

▶電車ご利用の方

山陽本線「八鹿駅」下車 西向きに徒歩10分

▶路線バスご利用の方

「八鹿駅」もしくは屋響りのバス乗り場より乗車

「やぶ市民文化交流広場」/「鹿島町」バス停下車すぐ

▶自動車ご利用の方

北近畿豊岡自動車道「八鹿水ノ山」IC 出口より10分

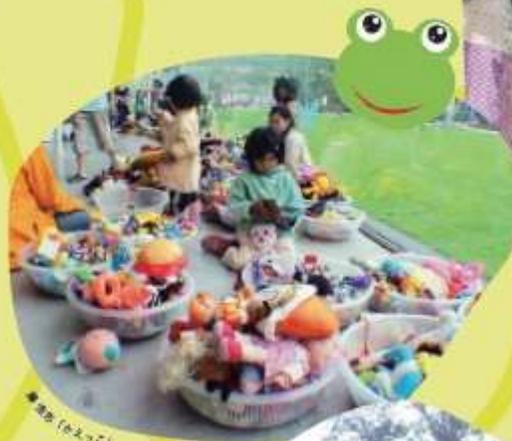


お問い合わせ | まちづくり文化交流課
やぶ市民文化交流広場

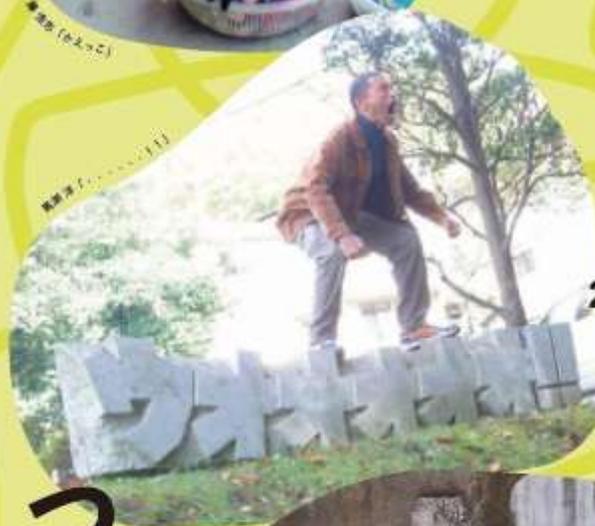
電話：079-662-0071 (8:30 ~ 17:15/ 平日のみ)

電話：079-662-0070 (9:00 ~ 17:00/ 月曜休館) ※月曜が祝日の場合は、その翌日が休館

つなぐ



●遊具(おもちゃ)



●彫刻(アート)

つながる



●お茶(おみせ)



プロジェクト FUKUSHIMA! (大規模)



入場無料

2025.11.1(土) → 24(月・祝)

やぶ市民文化交流広場 芝生広場

(養父市八鹿町八鹿 538-1)

アーティスト | 藤浩志、馬淵洋、森太三

プロジェクト FUKUSHIMA!

主催 | 養父市、養父市教育委員会



つなげる

▶作品 No. 1

擬音石像

漫画などでおなじみの「擬音（ぎおん）」を立体化しています。これらの作品たちは、みる人が主役の作品です。目の前の擬音からイメージをふくらませて、あなたのお好きなポーズで作品を完成させてみてください。

馬淵 洋 Hiroshi MABUCHI

プロフィール

兵庫県明石市生まれ。合同実地工芸大学で彫刻を学ぶ。西宮船坂ビエンナーレ（西宮市）、下町芸術祭（神戸市）、生駒ルートジェラダン芸術祭（船東市）など。関西圏の芸術祭での発表多数。石を素材にした擬音彫刻など、その土地や時代からウィットに富んだ表現を行っている。



4年目を迎える「やがいアート展」。今年のテーマは「つなぐ、つながる、つなげる」です。このYBファブに点在する作品たちは、みて楽しめる作品ばかりです。でも今回はちょっとだけ、その作品に近寄って、作品やまわりの誰かとつながってみませんか？そこからあなたなりの楽しみ方を、ぜひみつけてみてください。

- ・展示作品はすべて写真撮影可能です。
- ・一部、作品に触れることができますが、故意に叩くなど、破壊や危険性を伴う鑑賞はご遠慮ください。
- ・会期中のイベント等はこちらのQRからご確認ください。



プロフィール

兵庫県明石市生まれ。合同実地工芸大学で彫刻を学ぶ。西宮船坂ビエンナーレ（西宮市）、下町芸術祭（神戸市）、生駒ルートジェラダン芸術祭（船東市）など。関西圏の芸術祭での発表多数。石を素材にした擬音彫刻など、その土地や時代からウィットに富んだ表現を行っている。



▶作品 No. 4

そこに仮に置いてみる 養父

広場に多角形のベンチを仮に置いてみる。座る。寝転ぶ。空を眺めてみる。ベンチを動かしてみる。様々な要素が重なりあい、成り立つこの世界を感じてみる。

森 太三 Taizo MORI

プロフィール

1974年大阪府生まれ。1999年京都精華大学大学院美術研究科修了。1996年の初個展以降、個人の身体感覚によって生みだした小さなカタチを集積させて、展示空間内に架空の風景を演出させる作品を発表。2014年「STUDIO 森命」設立。展覧会企画や展示装置、ワークショップなどの美術に関わる様々な活動を展開している。

▶作品 No. 3 大風呂敷

福島を想う、日本各地の人々の手によって紡がれた巨大バッチワークが、YBファブに登場。ホール棟での展示のほか、11/9（日）の「YABUフードEXPO」にあわせ、10×10mの大風呂敷を芝生広場に敷き、コミュニティの場としても活用します。

プロジェクト FUKUSHIMA!

プロフィール

東日本大震災後、福島を想い、世界の隅にまで発信することを目的に福島県内外の有志によって結成。〈当初の代表は音楽家の大友良英、造園ミチロウと詩人の和合亮一〉。2011年より毎年8月、巨大バッチワーク「福島大風呂敷」を広げて開演する「フェスティバル FUKUSHIMA!」を中心に、ネット放送局「DOMMUNE FUKUSHIMA!」や「スケール FUKUSHIMA!」などの活動を継続。2024年には、書籍「福島大風呂敷 FUKUSHIMA O-FUROSHIKU」とDVD「ドキュメンタリープロジェクト FUKUSHIMA!」を発行し、地域をつなぐ取り組みを続けている。



▶作品 No. 2 かえっこ

増え続けるビニールプラスチック廃棄物への違和感からはじまった、美術家・藤浩志ファミリーの小さなプロジェクトがもととなり、不要になったおもちゃ類を循環させる子ども主体のコミュニケーションプログラムです。（※11/15のみ実施。参加方法は裏面をご覧ください）

藤 浩志 Hiroshi FUJI

プロフィール

1960年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇に没頭した後、バブアニューギニア国立芸術学校講師、東京での都市計画コンサルタント勤務を経てプロジェクト型の美術表現を全国各地で実践。国内外のアートプロジェクトに数多く関わる。十和田市現代美術館館長を経て、現在は秋田公立美術大学教授。